



## 2020年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年8月14日

上場会社名 株式会社アミファ 上場取引所 東  
 コード番号 7800 URL <https://www.amifa.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井愉三  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 川上康夫 TEL 03-6432-9500  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期第3四半期の業績 (2019年10月1日～2020年6月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	3,733	△3.1	264	△23.6	268	△23.4	168	△27.9
2019年9月期第3四半期	3,851	—	346	—	350	—	233	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	52.35	52.25
2019年9月期第3四半期	85.00	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	2,966	2,155	72.7
2019年9月期	2,871	2,037	70.9

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 2,155百万円 2019年9月期 2,037百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	19.00	19.00
2020年9月期	—	0.00	—		
2020年9月期 (予想)				19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年9月期の業績予想 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,850	△2.3	260	△21.0	260	△9.4	170	△3.4	52.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年9月期3Q	3,225,000株	2019年9月期	3,200,000株
② 期末自己株式数	2020年9月期3Q	一株	2019年9月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年9月期3Q	3,212,591株	2019年9月期3Q	2,745,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料1ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第3四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	5
(追加情報) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（自 2019年10月1日 至 2020年6月30日）におけるわが国経済は、相次ぐ台風による甚大な被害、消費税増税、米中間の通商問題等の影響や国際的な地政学的リスクから低調に推移する中、3月以降の新型コロナウイルス感染症の拡大により急速に悪化いたしました。

こうした環境下、当社においては、中国における新型コロナウイルス感染症の拡大により、2月～3月には、一時的に委託生産が遅れる影響がありましたが、主要顧客への販売拡大に向けて、新商品の提案を積極的に行い、第2四半期会計期間まではおおむね順調に推移いたしました。しかし、当第3四半期会計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）には、4月7日の政府の緊急事態宣言に基づく地方自治体の自粛要請により、行楽、レジャー、パーティーなど、人々が集うシーンで使われる商品などの販売が主に落ち込み、当第3四半期累計期間における売上高は3,733,523千円と前年同期比3.1%減少いたしました。

ライフスタイル雑貨の商品群別累計売上高は、「ワンプライス商品」が3,453,415千円（前年同期比0.9%増）、「OEM商品」が201,381千円（同14.8%減）、「フルール商品」が77,159千円（同57.8%減）、「その他商品」が1,566千円（同85.6%減）となりました。

また、継続的な原価低減に努めておりますが、上場関係経費、新人事制度導入に伴う労務費増等、一般管理費の増加があり、営業利益は前年同期比減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高は3,733,523千円（前年同期比3.1%減）、営業利益は264,884千円（同23.6%減）、経常利益は268,365千円（同23.4%減）、四半期純利益は168,171千円（同27.9%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は2,784,993千円となり、前事業年度末に比べ83,424千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が409,483千円増加した一方、受取手形及び売掛金が72,236千円、たな卸資産が265,358千円減少したことによるものであります。固定資産は181,506千円となり、前事業年度末に比べ11,460千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が4,383千円、無形固定資産が9,834千円増加した一方、投資その他資産が2,757千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は2,966,499千円となり、前事業年度末に比べ94,885千円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は432,672千円となり、前事業年度末に比べ25,161千円増加いたしました。これは主に買掛金が52,656千円、未払金が50,107千円増加した一方、賞与引当金が48,381千円、1年内返済予定の長期借入金が18,132千円減少したことによるものであります。固定負債は378,472千円となり、前事業年度末に比べ48,466千円減少いたしました。これは主に長期借入金が52,500千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、811,144千円となり、前事業年度末に比べ23,304千円減少いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は2,155,355千円となり、前事業年度末に比べ118,190千円増加いたしました。これは主に四半期純利益168,171千円、配当金の支払い60,800千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は72.7%（前事業年度末は70.9%）となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響により、当第4四半期会計期間（自 2020年7月1日 至 2020年9月30日）においても、行楽、レジャー、パーティー関連商品の需要回復の遅れがあると見込まれることから、当事業年度（自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）の業績見直しを変更しております。

なお、今後の感染症の拡大や収束の状況等により、実際の業績等が異なる可能性があります。修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,115,815	1,525,298
受取手形及び売掛金	379,624	307,388
電子記録債権	3,027	2,599
たな卸資産	1,163,425	898,066
その他	40,502	52,095
貸倒引当金	△825	△455
流動資産合計	2,701,568	2,784,993
固定資産		
有形固定資産	59,331	63,714
無形固定資産	30,759	40,594
投資その他の資産	79,955	77,197
固定資産合計	170,045	181,506
資産合計	2,871,614	2,966,499
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	24,862	77,518
1年内返済予定の長期借入金	88,132	70,000
未払金	160,489	210,596
未払法人税等	59,287	43,945
賞与引当金	48,381	—
その他	26,357	30,611
流動負債合計	407,510	432,672
固定負債		
長期借入金	157,500	105,000
退職給付引当金	15,104	19,137
役員長期未払金	254,335	254,335
固定負債合計	426,939	378,472
負債合計	834,449	811,144
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	32,000	35,525
資本剰余金	268,248	271,773
利益剰余金	1,737,366	1,844,738
株主資本合計	2,037,614	2,152,036
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,295	1,346
繰延ヘッジ損益	△1,745	1,972
評価・換算差額等合計	△449	3,318
純資産合計	2,037,165	2,155,355
負債純資産合計	2,871,614	2,966,499

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	3,851,625	3,733,523
売上原価	2,224,308	2,099,569
売上総利益	1,627,317	1,633,953
販売費及び一般管理費	1,280,581	1,369,068
営業利益	346,735	264,884
営業外収益		
受取利息	2	111
受取配当金	56	61
為替差益	6,959	2,118
固定資産売却益	—	999
受取和解金	—	1,200
その他	218	598
営業外収益合計	7,236	5,090
営業外費用		
支払利息	1,709	951
匿名組合投資損失	917	658
株式公開費用	1,000	—
その他	151	—
営業外費用合計	3,778	1,609
経常利益	350,192	268,365
税引前四半期純利益	350,192	268,365
法人税等	116,859	100,193
四半期純利益	233,333	168,171

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載のとおりであります。会計上の見積りの仮定については、当第3四半期累計期間において重要な見直しは行っておりません。